

8 近隣市町の家庭系収集ごみ有料化の取組等について

番号	分類	質問等	回答等
1	近隣市町関連	近隣市町でも、家庭系収集ごみ有料化の導入を検討しているところがあるとのことですが、どの市町ですか。	問い合わせ等をいただいておりますが、どの市町かについては、この場でお伝えすることはできません。
2	近隣市町関連	家庭系収集ごみ有料化を導入している近隣市町の指定ごみ袋の価格状況を教えてください。	東海市では世帯人数に応じて、指定ごみ袋を一定量無料で配布し、それを超える場合には1枚110円で販売しています。常滑市は、来年度から知多市が導入する指定ごみ袋の価格と同じです。その他の知多半島の市町については、まだ家庭系収集ごみ有料化を実施していません。
3	東海市関連	知多市と東海市の家庭系収集ごみ有料化制度を比較して、どのように考えていますか。常滑市と比較はしても、東海市と比較していないようですが、なぜですか。	様々な要因を検討した結果、常滑市と同じ水準とすることが決まりました。この先、新しいごみ処理施設を利用する際には、ごみとして処理するものは、東海市と同じ扱いになりますので、再度、検討する余地はあります。
4	東海市関連	東海市は、指定ごみ袋を一定量無料で配布しています。愛知県内では、他にも碧南市と高浜市が無料で配布していますが、知多市が指定ごみ袋の無料配布を行わない理由は何ですか。	東海市は、一定枚数の指定ごみ袋を無料で配布する方式を採用しており、2人から4人の世帯の場合、年間に可燃物用40リットル袋60枚、20リットル袋40枚、不燃物用30リットル袋10枚、資源用40リットル袋40枚を配布しています。説明の中にもあったように、この方式は全国でも珍しいものです。この方式は、配布されている範囲内での、ごみ減量に対する意識が働きにくく、事務も煩雑で、ごみ袋を配布するために、多額の費用が掛かかります。このため、知多市では、無料配布を実施する考えはありません。
5	東海市関連	東海市は、49,000世帯で、指定ごみ袋に9,600万円の税金が使われて、コストと手間が掛かるとのことですが、東海市は指定ごみ袋の無料配布をいつから実施しているのですか。	平成7年から実施しています。
6	東海市関連	東海市では、世帯員が2人から4人の世帯に年間150枚ほどのごみ袋を無料配布しており、その150枚ほどで足りているとのことですが。説明では、この方式だと抑制が効かないとのことですが、東海市のデータをみたところでは、制度を導入した平成7年から年々確実にごみが減っています。なぜ、この方式を導入しないのですか。	東海市は、一定枚数の指定ごみ袋を無料で配布する方式で、全国的には珍しいものです。配布された分を超えた場合は、10枚1,100円で購入します。指定ごみ袋を製造して配布する費用として約9,600万円かかるのに対し、収入は約4,000万円で、非常にコストが掛かります。ごみの減量にはつながりますが、財源の確保にはつながらないため、知多市では、全国的にも一般的に採用されている、排出量に応じて手数料を負担していただく、排出量単純比例型の方式を採用します。

8 近隣市町の家庭系収集ごみ有料化の取組等について

番号	分類	質問等	回答等
7	東海市関連	知多市で、指定ごみ袋の無料配布を行うと、どれくらいの費用が掛かるのでしょうか。	東海市と同程度の内容を想定して、東海市と知多市の世帯数の比率で単純計算すると、約7,000万円掛かると考えられます。
8	東海市関連	今まで、指定ごみ袋1枚を10円で買っていたものが、1枚50円と、急に5倍になります。 東海市と同様に、無料配布をしてほしい。	ごみ処理手数料である指定ごみ袋の単価は、他の自治体の状況、各家庭への影響、減量効果を考慮して、設定しています。 無料配布の点については、今まで市民の皆様にご自分で購入していただいていた指定ごみ袋を、市が配布するということになり、今まで以上に税金を使うこと、余分に経費が掛かることとなりますので、指定ごみ袋の無料配布は行いません。
9	東海市関連	ホームページでは、東海市のごみの量は、1人1日当たり680グラムとなっていますが、知多市などと比較して、どうなのですか。	東海市の680グラムという数字は、資源類も含めた全体のごみ量ではないかと思えます。平成27年度の1人1日当たりの家庭系ごみの排出量は、東海市は526グラムで、知多市は618グラム、常滑市は541グラムです。 常滑市は、平成24年の10月から家庭系収集ごみ有料化を実施していますが、平成23年度の1人1日当たりの家庭系ごみの排出量は648グラムでした。それが平成27年度は541グラムまで減っています。平成26年度は535グラムでしたので、多少リバウンドはしていますが、減量しています。知多市でも、同じくらいの減量を見込んでいます。
10	常滑市関連	常滑市は、家庭系収集ごみ有料化を導入して、資源回収量が増えたのですか。	常滑市は、平成24年10月の家庭系収集ごみ有料化導入後、年間約170トンほど資源回収量が増加しています。
11	常滑市関連	今後、東海市と共同でごみ処理施設を建設することです。から、東海市との比較として、「東海市は指定ごみ袋を無料で配布しているが、知多市ではできない」ということは理解します。常滑市の話が出てきていることには、何か意図があるのですか。	今回、知多市の導入する家庭系収集ごみ有料化と同じ手数料水準で、既に実施しているのが常滑市です。先行自治体で、どれだけごみの減量となったのかご紹介するために、お示したものです。
12	常滑市関連	既に家庭系収集ごみ有料化を導入している常滑市では、清掃センターへ直接搬入した場合、ごみ処理手数料は無料です。 また、剪定枝は、夏期の6か月間は月1回無料で回収しています。先行して有料化を実施した自治体よりも、サービスが劣っているとはどういうことですか。	ごみは焼却して処分しており、処理費用が掛かっているため、ごみを直接搬入する際にも、処理費用の一部を負担していただきます。 剪定枝に関しても、焼却処分しているため、処理費用の一部を負担していただくものです。

8 近隣市町の家庭系収集ごみ有料化の取組等について

番号	分類	質問等	回答等
13	常滑市関連	常滑市では、剪定枝を指定ごみ袋に入れなくても、回収をしています。知多市ではやらないのですか。	現在のところは、考えてはいません。 常滑市は剪定枝の裸出し回収を、夏期の6か月に月1回行って、資源化する施設に運んでいますが、知多市は、車両や人員の配置が難しく、清掃センターで焼却するため、ごみ収集場所に出す場合は、指定ごみ袋に入れて出すようお願いしています。
14	常滑市関連	常滑市は、家庭系収集ごみ有料化によって、17%ごみが減ったとのことですが、その中身は何ですか。	常滑市では、家庭系収集ごみ有料化の導入後、ごみそのものの減量と、ごみ排出分から資源回収分に回る分が増えたことで、全体としてごみが減ったものと考えています。常滑市民が、家庭系収集ごみ有料化で負担が増えないように取り組まれたものと思っています。 ライフスタイルが大きく変わらない限り、ごみの総量を大きく減らすことは難しいと思います。細かい紙などは、ごみとして出されていることも多くあると思います。資源を出しやすい環境を整備していくことで、資源に回る量を増やしていきたいと考えています。